

マス商事

中国の売り上げ好調

ソリユーストップ 提案営業を強化

製造装置商社・マス商事は、製造業が活況を呈する中国において車載、民生機器、EMSなど幅広い業種に向け、実装機の売れ行きが好調に推移している。実装ラインの「ソリユーストップソリユーション」の提案営業を強化している。



入山 部長

結果、コロナ禍から世界でいち早く立ち直り、製造業が活気づいている。蘇州分公司責任者の入山紘樹営業部長は「製造業の回復に伴い、実装機市場も昨年秋ごろから市況が良く前を上回る勢いで需要が伸びている。車載、5G、民生機器、EMSのほか、幅広い業種で製造装置の需要が拡大している。好調な中国企業にけん引される形で日系企業も忙しくなっているとの印象を受けている」と話す。

同社はヤマハ発動機（ロボティクス事業部）代理店として、実装機を中心にSMTに関する製造装置を幅広く販売している。国内のほか、海外展開する日系企業を主対象に中国（蘇州、深圳）、東南アジア、インド、メキシコに営業拠点を構えてビジネスを拡大している。

中国にはマストレーディング（深圳）をヘッドに蘇州分公司を構えている。深圳は主に華南地区を営業エリアとし、蘇州分公司は上海、江蘇省を中心とした華東地区や大連、天津など北部地域を担当する。

中国は徹底して新型コロナウイルスを封じ込め、今も継続している。その

21」（メッセミュンヘン主催）が開催され、同社はヤマハ発動機を通じて参加した。4月21日から23日までの3日間、上海世博覧館で開催される表面実装技術・製造装置の専門展示会「ネプコンチャイナ2021」（リード・エグジビションチャイナ主催）にもヤマハ発動機のブースで参加する。

入山営業部長は「米中貿易摩擦による東南アジアなどへの生産シフトは今は落ち着いている。日系企業も活発な中国内需に向けた生産活動を拡大している。ただ、急激に生産が立ち上がったことで電子部品や半導体不足が表面化し、生産が滞るケースも出ている」と部品不足の懸念を指摘する。

マス商事にとっても中国ビジネスは重要な位置付けにあり、これまでの華東、華南中心の営業体制から、今後は成都や西安など中国内陸部の市場開拓も進める。

入山営業部長は「設

同社が代理店になっているヤマハ発動機は実装機のほか、はんだ印刷機（SPI）、基板検査機（AOI）、さらに自動倉庫、ディスペンサーまで自社でそろえ、実装ラインの「ソリユーストップソリユーション」を提案している。

3月17日から3日間、上海新国際見本市会場（SNIEC）で製造装置展「プロダクトロニカチャイナ20

備の立ち上げからメンテナンス、アフターサービスまでスピード感を持って顧客に対応する

のJAVI、顧客とのパートナーシップをさらに強化した」と述べている。